

東邦大学学術リポジトリ



OPAC

東邦大学メディアセンター

タイトル	健康科学ジャーナル創刊によせて
作成者（著者）	炭山, 嘉伸
公開者	FD 委員会 研究推進検討会 (東邦大学健康科学部)
発行日	2018.06.30
ISSN	24343838
掲載情報	東邦大学健康科学ジャーナル. 1(1). p.2 2.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	巻頭言
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD16493428

健康科学ジャーナル創刊によせて

学校法人東邦大学
理事長 炭山嘉伸

健康科学部研究推進検討会の企画した第1巻健康科学ジャーナル創刊に向けて、一言お祝いの言葉を述べます。

健康科学部は、佐倉看護専門学校の跡を継ぐべく、数年間の準備期間を経て、昨年4月、本学としては75年ぶりの新学部として誕生致しました。幸いなことに、スタートの年から多くの優秀な学生が志願し入学してまいりました。この健康科学部のある習志野キャンパスは、本学創立90周年事業として、スポーツアリーナ、人工芝グラウンド整備、薬学新棟の建設など、この数年間で教学環境が飛躍的に整いました。薬学部・理学部の学生と同じキャンパスに通い、互いが刺激しあうことで、自然科学を学ぶ学生達は視野を広げ、且つ、学部の垣根を越えた共通教育を通して、ダイバーシティな人間性を養成する素晴らしい教育環境にあります。

更に、大森キャンパスには医学部があり、3つの付属病院を有し、且つ、90年以上の歴史ある看護学部の存在と共に、生命科学を学ぶ健康科学部にとっては、大きな存在価値であります。

このように恵まれた教学環境を有する健康科学部ですが、最も大切な教員の資質をどう担保するか、これが今後の健康科学部の飛躍にとってたいへん重要な視点です。その意味で、この健康科学ジャーナル創刊は、FD、SDから考えても素晴らしい企画であると考えます。このジャーナルへ投稿する原稿条件は、教育研究に居るものであること、また、その知識の発展に貢献する独創性に富む論文であること、あるいは教育の実践報告、活動紹介などとなっています。このことは、ジャーナル創刊の重要性を教育中心においた姿勢が強く感じられ、このジャーナルが健康科学部の教育研究の足場作りとなって、素晴らしい成果を上げることが大いに期待しています。

最後に、このジャーナル発刊に際し、準備いただいた研究推進検討会のメンバーに心から敬意を表します。